

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

久しく続けるのが完成の第一 伊與田 覺 (論語普及会学監)

1. 「中庸」には、次の一節があります。「故に至誠は息む無し。息まざれば則ち久しく、久しければ則ち徴あり」。「至誠」というのは天の心であり、聖人の心です。その心はもちろん本気です。思いつきではありません。「息む無し」とは休む暇がないという意味で、本気だからこそ久しく続くということ。するとある時、ひょこっと兆しが現われるということです。
2. 松下幸之助さんは、「何か大事を成そうと思うなら、一万回の祈りを捧げることや」とおっしゃっていました。一万回の祈りとは、ずっとそのことを考え続けることであり、至誠は息む無しという言葉に置き換えることができます。そして一貫して努力を重ねていると、ある時シンギュラー・ポイント (特異点) に達し、事の成る兆しが現れてくるのです。本気でやり遂げようと思うことなら、周囲がそれに賛同しようとするまいが、ずっと思い続ける。そのうちに実現のための方法がいろいろと浮かんでくるようになります。
3. 「中庸」は、「悠久は物を成す所以なり」とも説いています。物事というものは、久しく続けることが完成の第一です。いくらよいことでも、続けなければ完成はおぼつきません。そして本当の至誠というものは、限りなく続いていくものなのです。
(参考:「致知」2015年11月号)

経営者のための社会学

高齢者年齢の引き上げ根拠 (2025年)

1. 出生数の急減で年金、介護制度への危機感が高まる中、団塊世代が後期高齢者 (75歳以上) に近づく 2020 年ごろになると、社会保障の抜本的な見直し議論が待たなしとなる。2020 年に本格的な議論が始まれば 5 年程度で結論が出るだろうから、2025 年前後には高齢者年齢の引き上げが実現する。そうなれば現在 55 歳の世代が 65 歳を迎えても高齢者の扱いを受けなくなる。
2. 現在の介護保険制度では 65 歳からサービスを受けられるが、「まだ 10 年先ですよ」となりかねない。米国並みに、定年制が年齢差別として撤廃される可能性もある。ちなみに介護保険サービスの利用者のうち、75 歳までの前期高齢者はわずか 13%。この年齢までは元気老人が大半であることも、高齢者年齢の引き上げの根拠となる。

(参考:「週刊東洋経済」:2015年8月29日号)

新規成長分野

ミニ野菜の「置き野菜」

1. 社員の健康を「おいしく」守る、「置き野菜」ビジネスが登場した。ミニ野菜を独自の販路で調達、農業再生にも貢献する。KOMPEITO (本社・東京都渋谷区) は 2012 年、立ち上がった。初めは、契約農家から宅配便を使って自宅に野菜を届ける野菜宅配サービスを展開していた。しかし、ある企業の社長から「オフィスにしながら、食べたい」と言われたことがきっかけで、オフィスに設置された専用の冷蔵庫に陳列していく。
2. 野菜の特徴は「小さいこと」だ。しかも多くカットされていない丸ごとの野菜だから、いつもみずみずしい。大きく成長しなかった「規格外品」を農家から分けてもらったり、小さな品種を独自に仕入れている。形はいびつでも、小さくとも、味や品質は変わらない。個別包装や配達にかかるコストを、「規格外」を採用することで抑えている。

(参考:「日経ビジネス」2015年7月27日号)

古典に学ぶ

武家諸法度とは違う

(解説) なるほど十七世紀初めに、武家諸法度が発布されたが、その簡単な十三条は、おおかた、縁組、城郭、徒党などのことに関するもので、教訓的規定にふれるところは少なかった。それゆえ、およそはっきりした時所を示して、「ここに武士道の水源がある」と言うわけにはいかない。

(参考:新渡戸稲造著佐藤全弘訳「武士道」:教文館)